

使ってみよう 「やさしい日本語」

～日本人にも外国人にも住みやすく、
活動しやすいまちづくりを目指して～

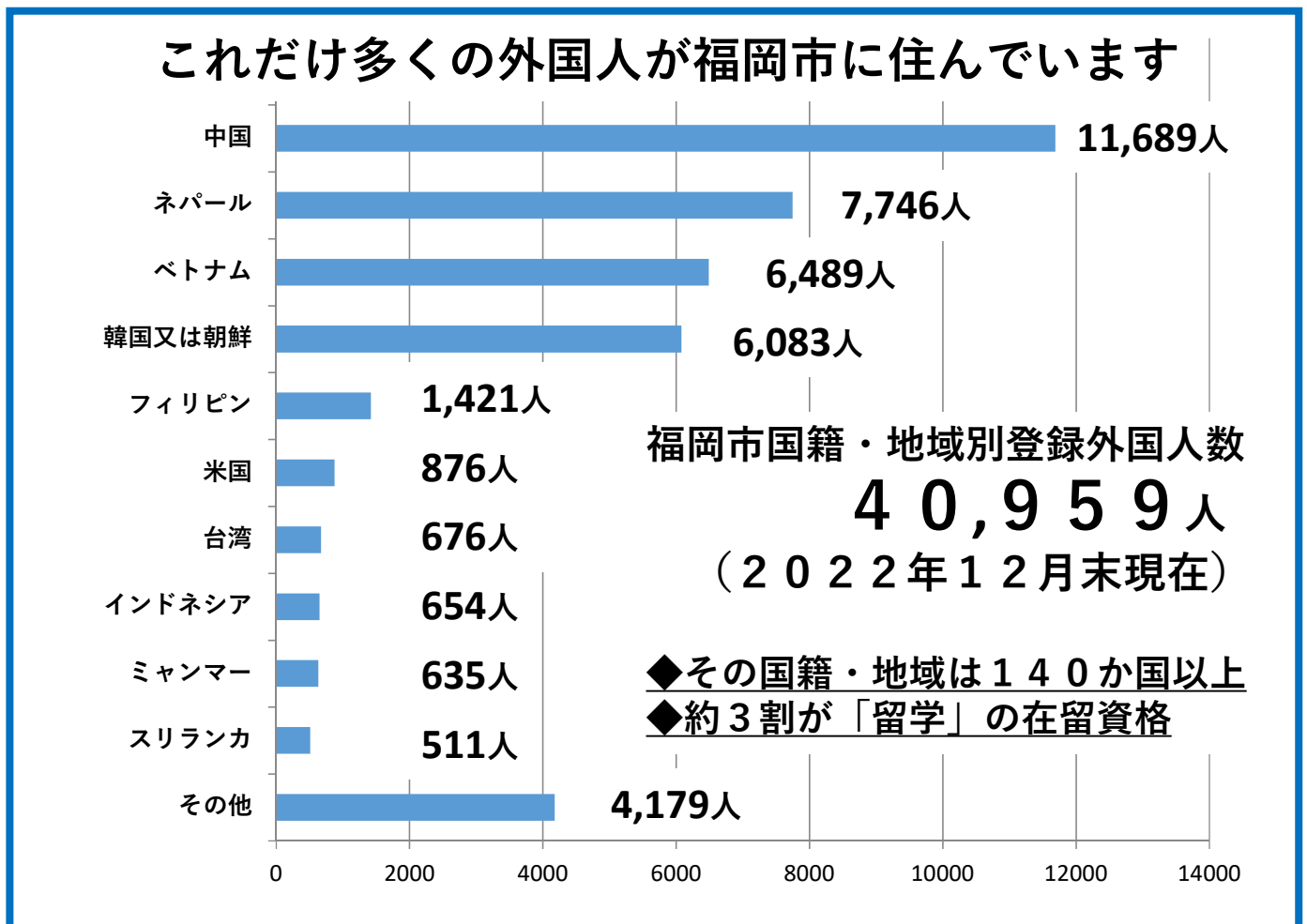


はじめに

福岡市には、2022年12月末現在で約4万人(人口の約2.6%)の外国人が居住しており、その数は毎年増加しています。

生活者としての外国人が増加する中、「外国人にも住みやすく活動しやすいまちづくり」に向け、『使ってみよう「やさしい日本語」』を作成しました。

本書は、福岡市で用いるだけでなく、民間事業者やボランティア団体の方々、そして市民の皆様にも幅広くご活用いただき、全市的な「やさしい日本語」の活用を目指すものです。



使ってみよう「やさしい日本語」

目 次

「やさしい日本語」とは

「やさしい日本語」ができたきっかけ	1
なぜ「やさしい日本語」なのか	2
どんなときに使うのか	3

「やさしい日本語」の作り方

難しいことばを避け、簡単な語彙を使いましょう	4
使用する漢字や漢字の使用量に注意しましょう	5
すべての漢字にルビ(ふりがな)をふりましょう	5
複雑でわかりにくい表現は文の構造を簡単にしましょう	5
あいまいな表現は避けましょう	5
二重否定の表現は避けましょう	6
文末はなるべく統一しましょう	6
カタカナ・外来語はなるべく使わないようにしましょう	7

やさしい日本語便利ツール

.....	8
-------	---

比べてみよう

「やさしい日本語」を体験してみよう 9

「やさしい日本語」で作ってみよう

作成例1:災害時に掲示するお知らせ 10

作成例2:SNSでの情報発信 11

活用事例

..... 12

もっとくわしく知りたい方へ

在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン 14

参考資料

..... 14

用語集

日常生活で使う言葉 15

災害時に使う言葉 19



「やさしい日本語」とは

「やさしい日本語」とは

「やさしい日本語」とは、普通の日本語よりも簡単で、外国人もわかりやすい日本語のことです。災害時の緊急情報や行政情報の発信はもちろん、普段のコミュニケーションにおいても有効です。

「やさしい日本語」は、その有効性から日本全国での活用が広がっています。

普段使っている言葉を、「やさしい日本語」に変換する際にはいくつかのポイント(P4～)があります。このポイントを抑えれば、誰でも迅速にわかりやすい情報発信をすることが可能です。

「やさしい日本語」ができたきっかけ

1995年1月の阪神・淡路大震災では、日本人だけでなく日本にいた多くの外国人も被害を受けました。その中には、日本語も英語も十分に理解できず必要な情報を受け取ることができない人もいました。

そこで外国人が災害発生時に適切な行動をとれるよう、災害情報を「迅速に」「正確に」「簡潔に」伝えるために、弘前大学の(旧)社会言語学研究室により提案されたのが「やさしい日本語」です。



なぜ「やさしい日本語」なのか

◆災害時の情報発信

災害発生後、外部からの援助が始まるまでに「72時間」を要すると言われています。その間、災害情報をすべての外国語で提供できればよいのですが、時々刻々と変化する情報を、短時間に、複数の言語に翻訳することはとても難しいことです。また、短時間での翻訳には「誤訳」が生じる可能性もあります。「やさしい日本語」であれば、災害情報を迅速かつ正確に伝えることができます。



◆多言語での情報発信の限界

福岡市には2022年12月現在で、140か国以上の外国人が居住しており、様々な国の言語に対応していくことには限界があります。「やさしい日本語」を活用すれば、さまざまな国籍の外国人に情報を発信することが可能となります。



◆生活者としての外国人のニーズへの対応

外国人が日本で一定期間生活する場合、日本語を覚えることが生活の利便性を高めると言われています。

比較的短期滞在の外国人にとって、わかりやすい日本語を示していく必要があります。



◆日本人にもわかりやすく

外国人だけでなく、日本人の高齢者や子ども、障がいがある人などにもわかりやすく伝えることができます。



生活していく中で、日頃から「やさしい日本語」を使うことが大切です。

「やさしい日本語」を活用し慣れておくことで、災害時にも「やさしい日本語」をより有効に活用できるようになります。

どんなときに使うのか

◆日常生活

自治体や町内会からのお知らせ、広報誌やチラシ、SNS、窓口手続き等に活用することで、多言語での情報発信の限界に縛られず、幅広い国籍の外国人に情報を提供することができます。

また、「やさしい日本語」は、普段の生活で出会う外国人とのコミュニケーションにも有効です。まずは、「やさしい日本語」を使って簡単な会話をしてみましょう。そのことが、外国人の日本語習得にもつながり、日本で生活する上での喜びや楽しさにつながります。



◆災害時などの緊急時

緊急時、刻々と変化する情報を複数の言語に翻訳し発信することは困難です。災害情報や避難情報を得ることができなければ、地震による物理的被害だけでなく、情報の面でも被災してしまいます。自治体のホームページや外国語FM放送、公共交通機関のアナウンス、区役所窓口や避難所等、様々な場面で「やさしい日本語」を活用することで、迅速かつ正確に情報を発信することができます。

外国人も普段から「やさしい日本語」に触れていないと有効性が分からず、いざという時に頼ることができません。日頃から、広報誌やチラシ、SNS、ホームページなど、外国人がよく目にするツールを使って、「やさしい日本語」で情報を伝えていることが大切です。

「やさしい日本語」の作り方

ここまで「やさしい日本語」の有効性についてご紹介してきましたが、普段私たちが使っている言葉を「やさしい日本語」にするうえで、いくつかのポイントがあります。これらのポイントを押さえることで、「やさしい日本語」は分かりやすくなり、より効果的に情報の発信を行うことができるようになります。

難しいことばを避け、簡単な語彙を使いましょう

- ・「今朝」を<今日^{きょう} 朝^{あさ}>のように言い換える
- ・「危険」を<危ない^{あぶ}>のように言い換える
- ・「確認する」を<よく 見る^み>のように言い換える
- ・「警戒する」を<気^きを つける>のように言い換える
- ・「亀裂が入ったりしている建物」を<地震^{じしん}で こわれた 建物^{たてもの}>のように言い換える

※簡単な語彙と、使える漢字の目安：

日本語能力試験出題基準 3 級・4 級（N 4 ・ N 5 相当）

小学 2、3 年生の国語の教科書で習得する程度です

※日本語能力試験3級・4級の語彙は、「やんしす」で確認することができます。また、N4・N5相当の語彙は、「リーディングチュウ太」で確認することができます。詳しくは、8ページを見てください。



使用する漢字や漢字の使用量に注意しましょう すべての漢字にルビ（ふりがな）をふりましょう

掲示物や配布物を作るときは、漢字を使った方が漢字圏の人にわかりやすいという利点がありますが、使用する割合に注意してください。

漢字の使用量は一文に3・4字程度が目安です。また必ずすべての漢字にルビをふってください。

複雑でわかりにくい表現は文の構造を簡単にしましょう

文の意味が確実に伝わるよう一文を短くします。
語の意味が確実に伝わるよう文節に区切りを入れましょう。

例:「余震が起きるおそれがあるため、十分に注意してください。」

よしん あと く じしん き
→「余震<後で 来る 地震> に 気をつけて ください」

あいまいな表現は避けましょう

「おそらく・・・」「たぶん・・・」「・・・したりしている」など、あいまいな表現は避けましょう。

例:「亀裂が入ったりしている建物」

こわ たてもの
→「壊れた 建物」



二重否定の表現は避けましょう

「通れないことはない」、「使えないわけではない」などの二重否定の表現は、外国人だけでなく、日本人にとっても混乱を招きやすい表現です。

例:「通れないことはない。」

→「^{とお}通ることが できます」



文末はなるべく統一しましょう

- ・ 可能の表現「することができます」
- ・ 不可能の表現「することができません」
- ・ 指示「～してください」
→ 「～しましょう」には、指示以外にも勧誘の意味があるので好ましくありません

例:「火を使えます。」

→「^ひ火を ^{つか}使うことが できます」

例:「電話は使えません。」

→「^{でんわ}電話を ^{つか}使うことが できません」

例:「手を洗いましょう。」

→「^て手を ^{あら}洗ってください」



カタカナ・外来語はなるべく使わないようにしましょう

外来語は原語と意味や発音の異なるものが多いため、使用するときには注意してください。

例：ライフライン・・・日本語では、電気・ガス・水道などの生活に必要な設備のことを意味します。しかし、英語では、「命綱」を意味するので、外国人には誤解されやすいことばです。

ダイヤル・・・英語とは発音が全く異なるため、外国人には伝わりにくいことばです。

デマ・・・ドイツ語の単語(Demagogie)を省略したことばです。日本人以外には伝わりにくいことばです。

外来語の中でも、日本語能力試験3級・4級程度（N4・N5）の語で、外来語以外での表現が難しいものは使うことができます。

使うことができる外来語の例

・・・バス、ガス、ガラス、テレビ、ラジオ、インターネット、
カード、コンビニ、タクシー、トイレ、パン、ハンカチ 等

※弘前大学人文社会科学部社会言語学研究室(2018)『「やさしい日本語」で表現するカタカナ外来語・アルファベット単位記号用語辞典(カテゴリー I 対応)』で確かめたり、言い換えの表現を知ることができます。

「やさしい日本語」便利ツール

◆「やんしす」 YAsashii Nihongo Slen System (東北大学大学院工学研究科 伊藤彰則研究室)

外国人にとってどのような単語や表現が「やさしい日本語」なのでしょう。慣れないうちは難しく感じるかもしれません。

「やんしす」は日本語が苦手な外国人に代わって、文の中の難しい部分を指摘するアプリです。作った文を入力すると、外国人にとって難しい部分が赤やピンクで表示されます。「やんしす」とやりとりしながら文章を修正することで、より「やさしい日本語」を作ることができます。

入力文 直ちに避難してください

評価

追加

分析結果

(1) 直ちに 避難してください

評価ポイント

文 (1)
score: 69.02
直ちに: 難しい単語です。可能なら簡単な単語に置き換えましょう。
避難: 難しい単語です。可能なら簡単な単語に置き換えましょう。

パソコン：<http://www.spcom.ecei.tohoku.ac.jp/aito/YANSIS/>

※アンドロイド用アプリもあります

やんしす Google Play 検索



◆日本語読解システムリーディングチュウ太 (筑波大学日本語・日本事情遠隔教育拠点)

やさしい日本語は、日本語能力試験主題基準3級、4級(最も初級)の語を使います。語彙レベルは、「日本語読解システムリーディングチュウ太」のホームページで調べることができます。

※文章を入れて、「語彙」ボタンを押すと、語彙レベルがわかります。

<https://chuta.cegloc.tsukuba.ac.jp/index.html>



比べてみよう

「やさしい日本語」を体感してみよう

文章 A

今朝、5時45分頃、福岡県の西方沖を中心に広い範囲で強い地震がありました。気象庁では、今後もしばらく余震が続くうえ、やや規模の大きな余震が起きるおそれもあるとして、地震の揺れで壁に亀裂が入ったりしている建物には近づかないようにするなど、余震に対して十分に注意してほしいと呼びかけています。

文章 B

きょう あさ じ ふん ふくおか おお じしん
今日 朝 5時45分、福岡などで 大きい 地震が ありました
よしん あと く じしん ちゅうい
余震<後で 来る 地震>に 注意して ください
じしん たてもん ちゅうい
地震で こわれた 建物に 注意して ください

文章Aは詳しく書いてあって、たくさんのがわかります。

文章Bは文章Aよりも情報量は少ないですが、読んですぐに内容が分かります。

文章Bのほうが理解しやすく、日本語に不慣れな外国人にも分かりやすくなっています。

なぜなら、文章Bは一つ一つの文章が短くすっきりしていて、難しいことばを使っていないからです。

文章Bで使っていることばが「やさしい日本語」です。


「やさしい日本語」で作ってみよう

作成例1：災害時に掲示するお知らせ

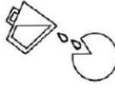
① 注意 Attention 주의 Atención

ちゅう い

② 注意して ください

③ 

なが じ かん すわ
長い 時間 座っていると
ち なが
血が 流れにくくなります
きゅう し
急に 死ぬかもしれません

④ 

⑤

⑥ (つくった 日) (つくった ところ) 66-1
作成 弘前大学人文学部社会言語学研究室、弘前大学医学部公衆衛生学教室

注意 Attention 주의 Atención

からだ

体のためにすること

からだ なか ち なが
体の中 血が 流れるように
1. 2. 3のことをして ください

① みず の 飲んで ください
1日に 1Lから
2L 飲んで ください

② ときどき て や あし を うご 動かして
ください

③ ときどき あし を マッサージして
ください

(つくった 日) (つくった ところ) 66-2

掲示されている物を見て、外国人が必要な行動をとることができるよう、次のことに気をつけて、作成します。

①外国人の目をひくように、見出し語だけは、多言語で書きます。

住んでいる人が多い言語がわかれば、その言語を使います。

②見出し語は目立つように、大きく太く書きます。

③見出し語は、動作を表すことばにします。

④絵は、重要な要素だけを描きます。

⑤詳しい情報とあわせて、どのように行動するか、指示することばを加えます。

⑥情報の出所と、掲示した日を書きます。


年月日の表現は、「/」は使わず、「〇〇年〇〇月〇〇日」と書きます。

※『これさえあれば!!「やさしい日本語」図鑑』、『これさえあれば!!「やさしい日本語」作り方ハンドブック』（いずれも弘前大学人文社会科学部（旧）社会言語学研究室作成）を参考にしています

作成例 2 : SNSでの情報発信

注意 Attention 주의 Atencão

もらうことが できます



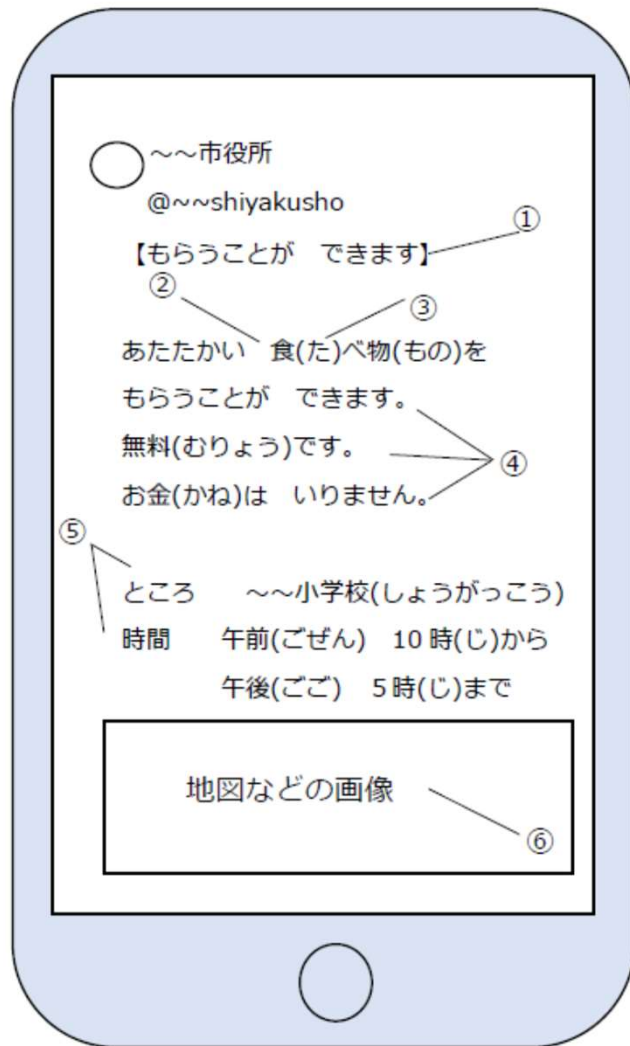
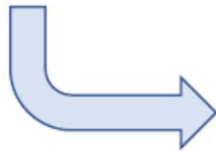
あたたかい 食べ物
もらうことが できます

無料です
お金は いりません

(ところ) _____

(時間) 午前・午後 時 分から
午前・午後 時 分まで

(作った 日) _____ (作った ところ) _____ 93



掲示物の内容を、SNSで情報を発信するときは、次のことに気をつけます。

①掲示物のタイトルにあたる部分を目立たせるため、【 】を使います。

もらうことが できます → 【もらうことが できます】

②文節を区切るとき(分かち書き)は、全角スペースを入力します。

③SNSではルビをふることができません。

ふりがなは、漢字の後ろに、半角のかっこで囲んで加えます。

④文の区切りには、句点をつけます。

⑤掲示物には(ところ)(時間)と書かれていますが、かっこは外します。

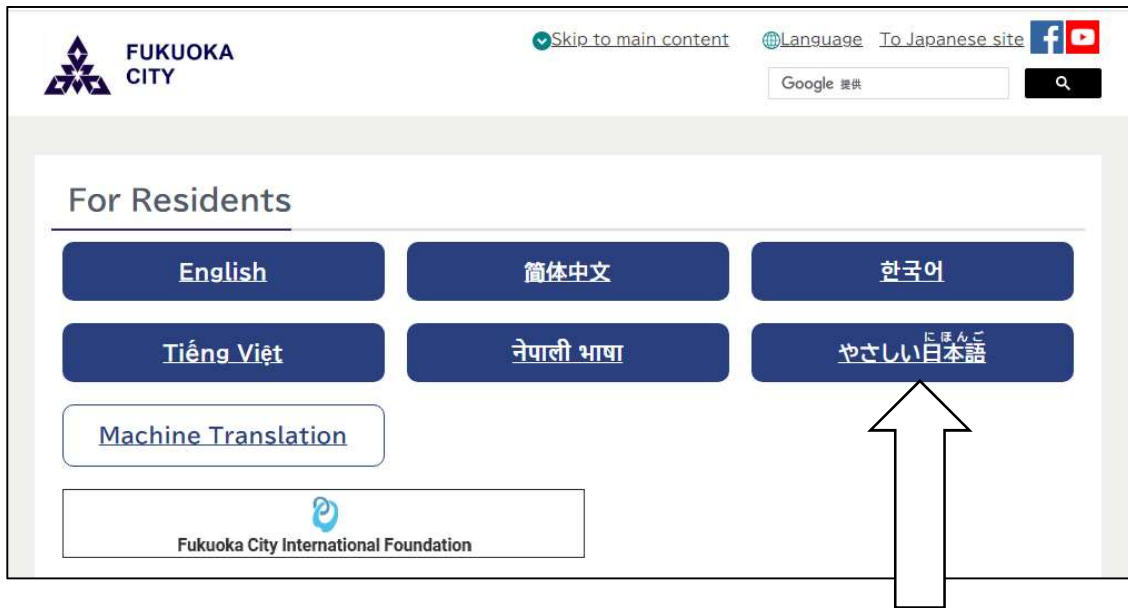
⑥必要に応じて、地図などの画像を添付したり、関連するホームページのリンクなどを加えることで、情報を補足します。

活用事例

福岡市ホームページでの活用



①福岡市ホームページやさしい日本語ページ




福岡市ホームページ外国語ページ <https://www.city.fukuoka.lg.jp/multilingual.html> から、やさしい日本語を押すと、やさしい日本語ページに移動します。

<https://www.city.fukuoka.lg.jp/easy/index.html>



②福岡市庁舎案内

なまえ 名前	じゅうしょ 住所	でんわばんごう 電話番号	でんしゃ 電車で行くとき	バスで行くとき
ふくおかしやくしよ 福岡市役所	ほんちようしゃ 本庁舎 〒810-8620 ちゆうおうくてんじんいつちようめ ばん 中央区天神1丁目8番 1号 【地図】 (159kbyte) 	092- 711- 4111 だいひよう (代表)	ちかてつこうこうせん てんじんえき ●地下鉄空港線「天神駅」 ばんでぐち ある 15番出口から歩いて5分 ちかてつななくません ●地下鉄七隈線 てんじんみなみえき ばんでぐち 「天神南駅」5番出口か ある ら歩いて4分 にしてつてんじんおむたせん ●西鉄天神大牟田線 にしてつふくおか てんじん えき 「西鉄福岡(天神)駅」か ある ら歩いて4分	にしてつばす てんじんこあまえ ●西鉄バス「天神コア前」、 あくろすふくおか・すいきようてんまんぐうまえ てんじん 「アクロス福岡・水鏡天満宮前」など天神の バスでい ある まわりのバス停から歩いて3分

やさしい日本語でわかる 福岡市の税金

やさしい日本語で、市の税金について説明しています

福岡市ホームページからダウンロードできます



<https://www.city.fukuoka.lg.jp/data/open/cnt/3/11280/1/yasasiinohonngo.pdf?20221020112622>



(公財) 福岡よかトピア国際交流財団 やさしい日本語ページ

やさしい日本語ページ <https://www.fcif.or.jp/ej/>



外国人のための防災ハンドブック（やさしい日本語版）福岡県作成



福岡県ホームページからダウンロードできます

<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/bousaihandbook-36.html>



もっとくわしく知りたい方へ

在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン (出入国在留管理庁、文化庁作成)

やさしい日本語の活用推進のために作られたガイドラインで、特に書き言葉に焦点をあてたものです。
お知らせなど書き言葉で情報発信をする際には、ぜひご覧ください。



2022年10月には、話し言葉のポイントに関するガイドラインも作成されています。

どちらも、出入国在留管理庁のホームページから見るができます。



https://www.moj.go.jp/isa/support/portal/plainjapanese_guideline.html

参考資料

※すべて、弘前大学（旧）社会言語学研究室作成資料

- 外国人住民が日本で生活するのに必要な情報を伝えるとき役立つ資料
 - ・生活情報誌作成のための「やさしい日本語」用字用語辞典
 - ・生活情報誌作成のための「やさしい日本語」ガイドライン
 - ・「やさしい日本語」で表現するカタカナ外来語・アルファベット単位記号用語辞典
- 大規模災害の情報を伝えるのに役立つ基本的な言葉を知るための資料
 - ・災害基礎語彙集成
～地震災害基礎語彙100・大雨、洪水、土砂災害基礎語彙100
 - ・地震のことばを知ろう！～「やさしい日本語」で学ぶ100のことば
- 「やさしい日本語」で緊急の情報を伝えるときに役立つ表現
 - ・さくさく作成！「やさしい日本語」を使った緊急連絡のための案文集
～災害時における学校や自治体からのお知らせ編～

用語集

日常生活や災害時に使える「やさしい日本語」での言い換え方の例を紹介します。

- ※この用語集は、弘前大学人文社会科学部（旧）社会言語学研究室の資料を参考に作成しています
- ・生活情報誌作成のための「やさしい日本語」用字用語辞典
 - ・「やさしい日本語」で表現するカタカナ外来語・アルファベット単位記号用語辞典
 - ・「災害基礎語彙集成～地震災害基礎語彙100・大雨、洪水、土砂災害基礎語彙100」 等

【日常生活で使う言葉】

ふつうの日本語	「やさしい日本語」
自己紹介	
ご出身は？	<small>くに</small> 国は どこですか？
おいくつですか？	<small>なんさい</small> 何歳ですか？
～と申します	～です
(部屋に入るとき) 失礼します	<small>はい</small> 入ります
(帰るとき、部屋から出るとき) 失礼します	さようなら
けっこうです	いりません
自治会・町内会	
委員	<small>ひと</small> ～する人
回収する	<small>あつ</small> 集める
加入する	<small>はい</small> 入る
近所	<small>ちか</small> 近く
行事	<small>まつ うんどうかい ぎょうじ れいじ</small> お祭りや 運動会などの 行事(例示する)
清掃活動	<small>そうじ</small> 掃除する
トラブル	<small>こま</small> 困ったこと
必須	<small>かなら</small> 必ず
ルール	<small>き</small> 決まっていること
連絡先	<small>れんらく</small> 連絡する ところ
～を回す	<small>わた</small> ～を 渡す

ふつうの日本語	「やさしい日本語」
手続き	
お持ちですか？	ありますか？
印鑑	はんこ 判子
記載する	の 載せる
記入する	か 書く
更新する	あたら 新しくする
消印有効	しめきり ひ ゆうびんきょく だ 締切の 日までに 郵便局へ 出せばよいこと
原本	もと (コピーする)元の もの
減免	すく 少なくなること なくなること
ご用件は何ですか？	どうしましたか？
コールセンター	でんわ そうだん 電話で 相談することが できる ところ
住民登録	す やくしょ とど 住んでいることを 役所に 届ける
少々お待ちください	すこ ま 少し 待って ください
助成	えんじょ 援助
所得	きゅうりょう 給料
申告する	つた ていしゅつ 伝える。提出する
滞納する	はら まだ 払っていない
手数料	てつづ かね 手続きのために かかる お金
パンフレット	あんない せつめい か かみ 案内や 説明を 書いている 紙
必着	かなら つ 必ず 着くようにする
フリーダイヤル	でんわ むりょう かね 電話は 無料です。お金は いりません
本人確認書類	ざいりゅう れいじ 在留カードや パスポート(例示する)
末日	がつ にち ぐたい てき にちじ か ○月○日(具体的な日時を書く)
免除	いらなくなること
臨時給付金	とくべつ かね 特別に もらう お金

【日常生活で使う言葉】

ふつうの日本語	「やさしい日本語」
ごみ	
業者	せんもん しごと ひと 専門に 仕事を している 人
収集する	あつ 集める
焼却する	や す 焼いて 捨てる
処分	す 捨てること
分別 <small>ぶんべつ</small>	しゅるい わ 種類によって 分けること
ポイ捨て	ばこいがい ばしょ す ごみを ゴミ箱以外の 場所へ 捨てること
リサイクル	いちど つか もう一度 使うこと
家族・子ども・教育	
親子	おや こ 親と 子ども
学用品	がっこう つか 学校で 使うもの
給食	がっこう で しょくじ 学校で 出る 食事
子育て	こ そだ 子どもを 育てること
～歳児	さい こ ～歳の 子ども
児童扶養手当	おや ひとり こ そだ いえ かね 親が 一人で 子どもを 育てている 家が もらう お金
世帯	かてい 家庭
世帯主	かてい ちゅうしん ひと 家庭の 中心の 人
同居	いっしょ す 一緒に 住むこと
入園	ようちえん ほいくえん はい 幼稚園や 保育園に 入ること
妊婦	なか あか ひと お腹に 赤ちゃんが いる 人
配偶者	おっと つま 夫や 妻
保育	ちい こ あず 小さい 子どもを 預かること
保育園	ちい こ あず 小さい 子どもを 預かる ところ
保護者	おや おや か ひと 親。親の 代わりに する 人
養う	そだ 育てる

ふつうの日本語	「やさしい日本語」
病院	
悪化する	もっと ^{わる} 悪くなる
アレルギー	^{からだ} 体の ^{ぐあい} 具合が ^{わる} 悪くなること
1錠	1つ
ウイルス	^{びょうき} 病気
お大事にしてください	^{からだ} 体に ^き 気をつけて ください
食後	^{はん} ご飯を ^た 食べた ^{あと} 後
ストレス	^{つか} 疲れること ^{しんぱい} 心配なこと
被保険者証	^{ほけん} 保険に ^{はい} 入っていることを ^{しょうめい} 証明する ^{かみ} 紙
問診票	^{じつぶつ} (実物を見せ) ^み せて) ^{かみ} この紙
観光・旅行	
アクセス	~へ ^い 行くための ^の ^{もの} 乗り物 インターネットで ^み ニュースを 見ること
インフォメーションセンター	^{そうだん} 相談(^{しつもん} 質問) できる ^{ところ} ところ
観光名所	^{ゆうめい} 有名な ^{ところ} ところ
キャンセル	~を やめること
宿泊する	^と 泊まる
素泊まり	^ね 寝るだけ
何名様ですか？	^{なんにん} 何人ですか？
半額	^{りょうぎん} 料金が ^{はんぶん} 半分
予定	いつ ~する
旅券	パスポート。ビザ
その他	
多くの	たくさん
年末	^{がつ} 〇月〇日 ^{にち} まで
年末年始	^{がつ} 〇月〇日 ^{にち} から ^{がつ} 〇月〇日 ^{にち} まで

【災害時に使う言葉】

災害時に使う言葉は、外国人にとっては難しい言葉が多いので、より簡単に、よりわかりやすい言葉で伝えるよう心がけます。

ふつうの日本語	「やさしい日本語」
ア行	
慌てない	ゆっくりと。急がないで
安否	大丈夫か どうか
生き埋め	壊れた 建物の 下に いて 動けない 人
一部破損する	少し 壊れる
引火する	火が つく
迂回する	違う 道 を 行く
運転を見合わせる	(電車は) 来ない。動かない
炎上する	火が 出る
エンジンを切る	エンジンを 止める
応急処置	少しだけ 治す
大声で	大きな 声で
カ行	
家屋	住む ところ。家
外国人相談窓口	外国人が 相談できる ところ
確認する	よく 見る
火災	火事
がれき	建物が 壊れた ゴミ
冠水	水が 道に たくさんあること
危険	危ない
犠牲者	死んだ人。けがをした人
救急車	病気や けがをした人を 運ぶ 車
救助	助ける

ふつうの日本語	「やさしい日本語」
力行の続き	
緊急時	とても ^{いそ} 急いで ^{たす} 助けが ^{ひつよう} 必要な ^{あぶ} とき。とても 危ない とき
近所	^{ちか} 近く
警戒する	^き 気を つける
決壊する	^{こわ} 壊れる
現在	^{いま} 今
呼吸	^{いき} 息
サ行	
妨げ	じゃま
支援	^{てつだ} 手伝うこと。 ^{こま} 困っている ^{ひと} 人を ^{たす} 助けること
死者	^し ^{ひと} 死んだ人
指定された	^き 決まった。 ^き 決められた
死亡する	^し 死んでいる
重体	^{いのち} ^{あぶ} 命が 危ない
集団で	^{いっしょ} 一緒に
収集	^{あつ} 集める
情報	^し お知らせ
震源地	^{じしん} ^{ちゅうしん} 地震の 中心
浸水	^へ ^や 部屋に ^{みず} 水が ^{はい} 入る
震度	^{じしん} ^{おお} 地震の 大きさ
水位	^{みず} ^{たか} 水の 高さ
すみやかに	すぐに
擦り傷	^{ちい} 小さい ケガ
清潔な	きれいな
全壊	^{こわ} すべて 壊れてしまう
備える	^{ようい} 用意する

【災害時に使う言葉】

ふつうの日本語	「やさしい日本語」
タ行	
大規模	<small>おお</small> 大きい
ただちに	すぐに
保つ	そのままにする
断水	<small>すいどう</small> <small>つか</small> 水道を 使うことが できない
近寄る	<small>ちか</small> <small>い</small> 近くへ 行く
注意する	<small>き</small> 気をつける
調理器具	<small>りょうり</small> <small>つく</small> <small>どうぐ</small> 料理を 作るための 道具
通行止め	<small>とお</small> 通ることが できないこと。ところ
津波	<small>たか</small> <small>なみ</small> とても 高い 波
デマ	<small>はなし</small> うその 話
停電する	<small>でんき</small> <small>つか</small> 電気を 使うことが できない
倒壊する	<small>こわ</small> 壊れる
土砂災害	<small>やま</small> <small>いし</small> <small>すな</small> <small>お</small> 山から 石や 砂が 落ちてくること
土砂崩れ	<small>やま</small> <small>いし</small> <small>すな</small> <small>お</small> 山から 石や 砂が 落ちてくること
ナ行	
亡くなる	<small>し</small> 死ぬ
流れ込む	<small>なが</small> 流れてくる
ハ行	
発生	<small>お</small> 起きること
早め	<small>はや</small> できるだけ 早く
氾濫	<small>かわ</small> <small>みず</small> <small>なが</small> 川の 水が たくさん 流れること
控える	できるだけ～しない
被災地	<small>じしん</small> <small>つなみ</small> (地震や 津波)が あった ところ
避難所	<small>に</small> 逃げる ところ

ふつうの日本語	「やさしい日本語」
ハ行の続き	
避難する	に 逃げる
避難指示	に 逃げるための 注意
火の始末をする	ひ け 火を 消す
不通	うご 動いていない
復旧	でんき すいどう つか (電気や 水道を)使うことができるようになること
防災	あんぜん ようい 安全の ために 用意する
暴風域	つよ かぜ ふ 強い 風が 吹く ところ
保護する	まも 守る
マ行	
身軽な	うご 動きやすい
身の安全を確保する	じぶん からだ まも 自分の 体を 守る
無料	かね お金は いりません
ヤ行	
優先	さき (ほかのものより)先にすること
行方不明	どこに いるか わ 分からない人
揺れ	じしん 地震
翌朝	つぎ ひ あさ 次の 日の 朝
余震	あとから くる じしん あとから 来る 地震
ラ行	
ライフライン	でんき すいどう 電気や ガスや 水道のこと
落下物	うえ お 上から 落ちる もの
連絡先	れんらく 連絡する ところ
路地	みち 道
その他	
～に関する	～に ついての
～付近	ちか ～の 近く



使ってみよう「やさしい日本語」

発行年月 2018年3月（2023年3月一部改訂）

発行 福岡市総務企画局国際部国際政策課
〒810-8620 福岡市天神1丁目8-1
電話：092-711-4022
Email：kokusaiseisaku.GAPB@city.fukuoka.lg.jp

監修 弘前大学人文社会科学部（旧）社会言語学研究室
名誉教授 佐藤 和之

引用・参考 弘前大学人文社会科学部（旧）社会言語学研究室資料
